

ガバナー補佐

クラブと地区を結びつける大切な存在となるのがガバナー補佐です。ガバナー補佐とクラブ会長が効果的に協力して、ロータリーをさらに強くしましょう。

ガバナー補佐の役割

1. 少なくとも4半期に1度は、直接クラブを訪れる。
2. 会員の声（懸念やニーズなど）を聞き、情報やアドバイス、参考資料を紹介して、クラブを成功へと導く。
3. クラブの現状（クラブの強みと弱み、目標に向けた活動の進捗）をガバナーに報告する。
4. ガバナーが特に目を向ける必要のあるクラブや問題があれば、ガバナーに報告する。
5. ガバナー公式訪問に向けたクラブの準備の指導や補助。
6. クラブ目標の達成状況を随時確認する（クラブ訪問後に「ロータリークラブ・セントラル」にクラブの評価やコメントを記録する）。
7. 会員増強、奉仕活動、財団への寄付などの分野で、クラブが目標に向けて順調に活動しているかどうかを、定期的に「ロータリークラブ・セントラル」で確認する。

ガバナー補佐の責務

ガバナー補佐は、ガバナーおよび担当クラブに対して以下の責務を担います。

1. 地区目標の設定を援助する。
2. 地区の行事と活動に参加する。
3. 地区チーム研修セミナーに出席する。
4. 会長エレクト研修セミナー（PETS）と地区研修・協議会に出席する。
5. 将来にリーダーとなれる人材を探し、育成する。
6. 招かれた場合には、クラブの例会、協議会、その他の行事に出席する。
7. クラブを支援するための具体的なアイデアを、ガバナーや地区に提案する。
8. 地区大会やその他の地区会合への出席をクラブに奨励する。
9. クラブの状況について次期ガバナー補佐に情報を提供する。

管理運営部門

クラブの活性化のためのクラブの円滑な運営の支援を主な目的とします。また、RLIの運営、ロータリーの貴重な財産である学友の管理を行います。

クラブ活性化委員会

1. RI 戦略計画の理解と実践を通し RI 会長賞にチャレンジする。
2. クラブ研修リーダーの任命を各クラブにお願いする。
3. 効果的なクラブ運営と出席率向上について各クラブにアイデアを提供する。
4. My Rotary の登録を推進し、利用を促進する。

RLI 運営委員会

草の根運動として発展してきた RLI の当地区での運営。

学友管理委員会

1. 学友の名簿、情報管理。
2. 地区やクラブからの学友に関する問い合わせに対応する。
3. 必要に応じて各学友との橋渡しや調整をする。

公共イメージ部門

公共イメージ向上委員会

ロータリーのプロジェクトが地域社会にもたらす影響を高めるには、効果的な広報が重要となります。公共イメージ向上委員会は、ロータリーを人びとに紹介し、ロータリーの活動に対する理解、評価、支援を促す広報の企画と実施にあたります。以下のような活動を推進してください。

1. 地区内のプロジェクトやイベントの話題をメディアに連絡し、ソーシャルメディアを活用してさらに話題を広げる。
2. ロータリーの最優先活動であるポリオ撲滅をめざす「End Polio Now」（今こそポリオ撲滅のとき）キャンペーン、活動の成功例、学友による活動や活躍、クラブの表彰などについて広報し、多くの人びとに伝える。
3. 広報活動を優先して取り組むよう、クラブに奨励する。
4. 効果的な公共イメージ向上について検討する。
5. RI の新ロゴの使用を指導、推進する。
6. ボイス、ブランドリソースセンターへの投稿をクラブに促す。

会員増進維持部門

会員増強維持委員会

クラブの未来を確保するには、新会員を迎え入れ、現会員の活発な参加を促す必要があ

ります。会員増強維持委員会は、会員増強策の立案と実施をクラブに奨励するほか、次の責務を担います。

1. ガバナーエレクトおよび地区研修リーダーと協力して、地区会員増強セミナーを企画・実施する。
2. 公共イメージ向上委員会と協力して、会員増強と関連した活動の調整を図る。
3. 入会候補者情報を管理する担当を決める。
4. 会員の多様化、女性会員の増強、40歳未満の会員の増強をクラブに奨励する。

奉仕プロジェクト 職業奉仕部門

職業奉仕委員会

職業奉仕委員会は、職業のスキルを生かして奉仕活動を行うよう会員に奨励し、職業研修チームの機会を紹介し、チームの編成を支援します。

ロータリーの原点に戻り、ロータリーの金看板である職業奉仕を会員に分かりやすく解説します。

奉仕プロジェクト 社会奉仕部門

地域社会奉仕委員会

地域社会奉仕委員会は、地元のニーズに取り組むクラブの社会奉仕プロジェクトを支援します。プロジェクトのライフサイクルに沿って、ロータリーのオンラインツールを活用して活動の計画、実施、評価を行うようクラブを奨励します。さらに、ロータリーのアイデア応援サイトでプロジェクトの協力クラブを探し、ロータリーショーケースでプロジェクトのアイデアを得るようクラブに奨励します。

1. ロータリー財団部門と協力して地区補助金を使った事業の支援をする。
2. 新たな奉仕活動やアイデアをクラブへ提供する。
3. 自然災害発生時に義捐金の募金活動や支援体制についてガバナーの下速やかに対応する。

ブライダル委員会

1. 当地区独自の事業としてブライダル事業の活性化を推進する。
2. クラブの協力を得て登録者を増やす。
3. コーディネーターと協力し成婚カップルを増やす。
4. 公共イメージ部門と協力しブライダル委員会の意義と成果を広報する。

奉仕プロジェクト 国際奉仕部門

国際奉仕委員会

1. 国際奉仕委員会は、クラブの海外プロジェクトを支援する。
2. 地区内クラブを海外の協力クラブと引き合わせる。
3. さまざまな分野の専門知識をもつ他団体から支援を得ることをクラブに奨励する。
4. クラブによる国際奉仕活動の紹介や広報を行う。

国際交流委員会

1. 国際大会への参加を積極的に推進する。
2. 日韓親善会議、日台親善会議への参加を推進する。
3. 姉妹地区の 3750 地区との交流の実施。
4. 海外姉妹および友好クラブの紹介。

青少年奉仕部門

青少年奉仕部門は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、平和でより良い未来を築くため青少年に将来への準備をさせるプログラムを担当します。

青少年育成・インターアクト委員会

インターアクトは、12～18歳までの青少年が、地元や学校で同じ世代の若者と知り合い、リーダーシップのスキルを培うことのできるプログラムです。

1. インターアクトクラブを提唱するようクラブに奨励する。
2. インターアクターがロータリーと関わり続け、ロータリーのプログラムや活動に参加し、卒業後にほかのプログラムに移行できるよう支援する。

ローターアクト委員会

ローターアクトは、18～30歳の若者の集まりです。地域社会でボランティア活動を行い、交流を深めながらリーダーシップのスキルを培うことのできるプログラムです。

1. ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）など、ほかのロータリーのプログラムをローターアクターに紹介する。
2. 奉仕プロジェクトでロータリークラブと協力する機会があることをローターアクターに伝える。
3. ローターアクトクラブを提唱することをクラブに奨励する。

RYLA 委員会

RYLA は、若いリーダーを育て、ネットワークを築き、アイデアを広げ、行動を起こすよう若者の意欲を高めるためのプログラムです。

1. 地区内の RYLA 行事の企画・実施を援助する。
2. 若い人びと（インターアクター、ローターアクター、青少年交換学生、RYLA 参加者、そのほかのロータリーの世界的コミュニティの若者たち）をつなぎ合わせる。
3. RYLA 元参加者とロータリーとの関わりを保ち続ける。

青少年交換委員会

ロータリーは、青少年交換を通じて若者のエンパワメントを図り、リーダーシップの力を育成し、世界の理解と平和を推進しています。

1. 地区内の青少年交換活動（派遣と受け入れ）の調整を担当する。
2. 国際ロータリー、地区ガバナー、派遣クラブと定期的に連絡を取り合う。
3. RI による青少年交換参加資格認定と地元の法律が守られるよう確認し、身体的、性的、精神的虐待から青少年を守る。

ロータリー財団部門

ロータリー財団部門は、財団についてクラブに情報を提供し、財団プログラムへの参加と寄付に対するクラブの意欲を高めます。

また、DDF（地区財団活動資金）配分の承認とクラブの補助金参加資格認定を担当します。この部門の下に設けられた 6 つの小委員会（ポリオプラス委員会、補助金・VTT 委員会、財団奨学・平和フェロー・学友委員会、地区補助金運営委員会、資金推進委員会、資金管理委員会）が、各分野の活動を担当します。

ポリオプラス委員会

1. RI の最重要課題であるポリオ撲滅運動について理解を深め寄付への協力をお願いする。
2. ポリオ撲滅運動のアドボカシー。
3. 募金活動の促進。

補助金・VTT 委員会

1. DDF（地区財団活動資金）配分の承認。
2. クラブの補助金参加資格認定（地区補助金管理セミナーの開催）。
3. グローバル補助金申請の地区内審査承認。
4. VTT 申請の地区内審査承認。

財団奨学・平和フェロー・学友委員会

1. 財団奨学生の応募、選考、研修、派遣すべての管理。
2. 平和センターがある国際基督教大学の近隣 6 地区で構成されるホストエリア連絡協議会の一員として平和センターの活動を支援する。
3. フェローの日本での生活支援のためカウンセラーを派遣する。
4. 学友との橋渡しをする。

地区補助金運営委員会

1. 地区補助金のクラブへの配分。
2. クラブの地区補助金申請の認定。
3. 最終報告の管理。

資金推進委員会

1. 年次寄付および恒久基金寄付を会員に募る。
2. 寄付への理解を深めるための情報を提供する。
3. 財団月刊（11 月）を中心に卓話をする。
4. ロータリーカードの加入および利用の促進。

資金管理委員会

1. DDF の管理。
2. ロータリー財団の監査に対応。

米山記念奨学部門

日本最大の民間国際奨学事業は、RI が承認した他地区合同活動です。その財源はロータリアンの寄付が支えています。昨年は米山財団設立 50 周年を迎えました。半世紀にわたる年月、世界平和の架け橋を担う学生を支援してきたプログラムです。

米山記念奨学増進委員会

事業の財源である寄付額の増進を図ることを目的にした委員会です。

1. 一人当たり 25,000 円の寄付を募る。
2. 寄付額のみならず寄付率の増進にも努力する。
3. 事業への理解を得るため米山奨学生、学友に卓話、部門セミナー、地区大会などへの参加を呼び掛ける。

米山記念奨学学友選考委員会

米山奨学生としてふさわしい学生を選考することを主たる目的とします。世話クラブの指導や委員会のプログラムを通じ奨学生としての自覚を持って学生生活を送れるように支援します。

1. 指定校指導教官、担当教官と密接なコミュニケーションをとる。
2. ホストクラブ、カウンセラーとの良好な交流を築く。
3. 学友管理委員会と連携し学友との活動を支援する。

ロータリーの友地区代表委員

ロータリーの地域雑誌である「ロータリーの友」は会員とクラブ、地区、RIをつなぎ、会員意識の醸成に役立つツールです。

1. ロータリーの友地区代表委員はロータリーの友に関するガバナーの代理者として、毎月のロータリーの友の評価や地区内の情報の編集部への提供などの任務を遂行する。
2. 地区内会員にロータリーの友の購読を推進する。

ロータリー特別月間

- 8月 会員増強・新クラブ結成推進月間
- 9月 基本的教育と識字率向上月間
- 10月 経済と地域社会の発展月間/米山月間（1）
- 11月 ロータリー財団月間
- 12月 疾病予防と治療月間
- 1月 職業奉仕月間
- 2月 平和と紛争予防/紛争解決月間
- 3月 水と衛生月間/米山月間（2）
- 4月 母子の健康月間
- 5月 青少年奉仕月間
- 6月 ロータリー親睦活動月間